

四つのテスト—言行はこれに照らしてから—

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるかどうか

# 熊本南ロータリークラブ



# 週報

R I テーマ  
**心の中を見つめよう 博愛を拡げるために**  
 Reach Within to Embrace Humanity

2011-2012 度 国際ロータリー会長  
 カルヤン・バネルジー(インド)

例会日: 毎週月曜日 12:30~13:30  
 創立日: 昭和33年9月1日(承認 昭和33年11月24日)  
 例会場: 〒860-8536 熊本市上通町2-1 ホテル日航熊本内  
 事務局: 〒860-8536 熊本市上通町2-1 ホテル日航熊本内  
 TEL: 096-211-2720 FAX: 096-211-2721 E-mail: minamirc@mail.sysken.or.jp

国際ロータリー第2720地区  
 会長/堀川貴史 幹事/野口泰則  
 クラブ広報委員長/馬場大介

2011-2012 RI テーマ



第6回 例会記録(通算第2491回)  
 平成23(2011)年8月22日

### 今日の例会

1. 今日の歌
2. 来訪者紹介
3. 会長・幹事・各委員会報告
4. 外部卓話  
公益財団法人グリーンストック  
山内 様

### 今月・来月の行事

- 8/29(月)13:00~臨時理事会
- 9/12(月)13:40~定例理事会

斉唱 国歌 君が代  
 ロータリーソング 「それでこそロータリー」

### 来訪者紹介 (浅山弘康君)

卓話者 中央保健福祉センター長 上村嘉壽子 様

### 会長報告 (代読 浅山弘康君)

皆様こんにちは。本年度の第6回例会です。  
 先週はお盆休みで例会は2週間ぶりとなります。私は本日、宮崎の都城で会議出席のため、例会を欠席させていただきました。前回の理事会報告は、週報に掲載されておりますが、次週あらためて報告させていただきます。御確認をお願いいたします。

8月18日(木)には、本年度2回目の熊本南ローターアクトクラブ例会に参加いたしまして、上半期分の助成金をお渡しいたしました。この日は、工藤ローターアクト副委員長の計らいで、国際ロータリー第2700地区の福岡より直前地区代表、直前クラブ会長をお招きしてのメインプログラム。例会運営の方法、達成感、自己の成長など、自身の経験談を交えてのお話に、ローターアクト経験がまだ浅い、熊本南ローターアクトクラブのメンバーは、いい意味で、大きな衝撃を受けたのではないかと思います。また、例会終了後は、福岡からの来訪者、地区内の他クラブからの来訪者、提唱クラブのロータリアンを交えての懇親会を行い、さらに親睦を図ることが出来ました。今後の成長がとても楽しみです。

ローターアクト委員会の吉原委員長、工藤副委員長には、大変お世話になりました。参加いただいた会員の皆様ありがとうございました。

出席報告(現王園敏伸君)			
会員数	出席数	出席率	前々回(8/1)修正出席率
61名	37名	63.79%	90.00%
出席規定適用免除者		8名	欠席記録免除者 0名
名誉会員 0名(会員数には含まれません)			

### 幹事報告(野口泰則君)

1. 米山梅吉記念館より、館報が届いています。
2. 大分中央RCより、創立30周年記念誌が届いています。
3. ロータリー財団寄付のお願い(回覧致します)
4. 熊本北RCより、第1回熊本市域RC会長・幹事会 議事録の送付  
(注意) 代理によるサインメーキャップがないよう各クラブで徹底すること

### サインメーキャップ情報

月	日	曜日	時間	RC	場所
8	31	水	12:00~	東南 水前寺	熊本ホテルキャッスル メルパルク熊本

## 委員会報告

### ●親睦活動委員会 (三角雄介君)

ゴルフ愛好会コンペ

日時 9月11日(日)8:30集合

場所 チサンカントリークラブ御船

\* 協賛景品(商品)を募集中です。ご協力をよろしくお願ひ致します



### ●パストガバナー報告 (寿崎肇君)

RI 第2720地区 第27回インターアクト年次大会報告 No.2  
大会テーマ「愛」いま、わたしたちにできること

毎年出席させていただくインターアクト年次大会は私にとって感動の連続です。今回は気仙沼での自衛隊第41連隊の「滅私奉公」の数々の活動のお話は素晴らしいものでした。ロータリーのモットーに「超我の奉仕」を教わります。私自身反省することばかりでした。「備えあれば憂いなし」学校は防災訓練が行われているか。今回の東日本大震災の教訓が永く語り継がれると良いなと思いました。家族で“いざ”という時に、皆で集まる場所を決めておく。食べ物を誰が持ち出すか、などの話がありました。

各高校のインターアクトクラブの活動報告がありました。ボランティア活動で大変うれしかったのは“ありがとう”と言ってもらった時。喜んでもらいたいと思って行った行動が思いやりの心であった体験。特に年寄には孫のような高校生の顔をみるだけでも嬉しいのに、手助けをしてくれたことに喜び。インターアクトクラブは奉仕を楽しんでおるようなお話でした。インターアクターが子供たちに料理や紙細工を教える。教えることで終わりではなく、子供たちが懐いてくるのが大変嬉しかった。新しいボランティア活動の開拓をしていきます。などなど。皆さんの活動が素晴らしく、我々ロータリアンの勉強になることがたくさんありました。総評で申し上げたことを少し報告致します。大会テーマ“愛”について、今私たちの出来ることの数々のお話を聞くことが出来た2日間でした。自衛隊にしかできないことなどの実践したお話。インターアクトが最高と思ってやるボランティア奉仕活動の素晴らしさは立派でしたが、国際理解と親善を目的とする。韓国3660地区インターアクターとの交流がこの度の震災で中止となったことは誠に残念でした。参加予定者はさぞガッカリしたのではないかと深くお詫び申し上げます。自衛隊第41連隊の気仙沼での40万食の提供、3,000万tの水に市民が大喜び、15か所での演奏会で市民に勇気を与えたお話などを伺いながら、国を護る防人、鉄砲の玉こそ飛んでこない場であれ自分を犠牲にして奉仕をする姿。今しか出来ない奉仕を死にもの狂いでなされる人間の姿には感動のほかありません。

ロータリーはアメリカで創立されました。最初のRI会長は熱心なクリスチャンでした。ロータリーの創始者ポール・ハリスは3歳の時からキリスト教の教え、愛の躰を熱心な祖父から受けてきました。キリスト教は愛の宗教、仏教は慈悲の宗教、孔子様は恕とおっしゃいました。ロータリーの超我の奉仕と同じです。どの宗教もロータリーと同じように思いやりの心を教えています。ロータリーは勉強の場です。「入りて学び、出て奉仕せよ」です。人間すべて奉仕を心がけよ、と言っておるのでしょうか。また、こんなこともあります。ロータリーの六法全書とは言えませんが手続要覧があります。この中に人生の幸福も事業の成功も奉仕の理想を適用するように教えてあります。奉仕の理想とは「超我の奉仕」のことであり、「最も良く奉仕するもの、最も多く報いられる」という実践論理です。私はこれをバカ正直に守ったおかげで3人で始めた商売が40年後社員数15,000人になっておりました。インターアクト年次大会に参加して勉強させていただいたことを熊本南RCの皆様へ感謝致します。

話は全く違いますが、明後日8/24に熊本南RCが27年間続けてきたバドミントン大会が行われます。熊本南RC会員の私がワンポイントリリーフとしてクラブで再開するまで中学生の喜びのため実行しております。つきましては会員である私が悪用するつもりもありませんので、ロータリー旗を貸して頂きたいのです。堀川会長にはお話しておりません。理事会でのご了解をとっていただくと良いなと思います。8/24に熊本市内の中学生の夢と希望の姿とお母さん方の熱心な声援プラス今年からロータリーの第5の奉仕青少年奉仕が加わりました。時間を作って見学下さい。

### スマイルボックス (漆島典和君)

○浅山弘康君・野口泰則君・古財良一君

本日の卓話を賜ります熊本中央福祉保健センター上村嘉壽子様のご来訪を心より歓迎致します。

○寿崎肇君

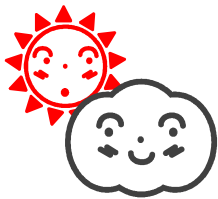
胃がんの手術を日赤病院で行い、無事に退院することが出来ました。皆様へ感謝してスマイルさせていただきます。ありがとうございました。

○原 裕一君

今日は所用があり早退させていただきますので、お詫びのスマイルです。

○漆島典和君

寿崎会員、ご退院おめでとうございます。寿崎さんの生命力に敬意を表しスマイル致します。



本日の合計	32,000円
今年度の累計	233,000円

### ●本日の卓話



熊本市中央保健福祉センター長  
上村 嘉壽子 様  
「南三陸町派遣活動報告」

～ 資料が必要な方は事務局まで  
ご連絡下さい ～

### 【RAC・IACの例会日程について】

○熊本南ローターアクトクラブ例会(第1・3木曜日)

日時:9月1日(木)19:30～

場所:未定

内容:キャンプ

○熊本国府高校インターアクトクラブ例会(第1・3水曜日)

日時:9月7日(水)16:00～

場所:国府高校「大会議室」

内容:未定

ただし、学校の都合上(他団体が施設を使用する場合や生徒の課外、職員の会議等)、急遽変更される場合もあります。

ご出席の場合は、メーカーに充当することが可能です

### 【例会予定】

9月5日(月)

外部卓話

熊本暮らし人まつり みずあかり実行委員長 石原靖也様  
「未定」

9月12日(月)

外部卓話

生と死を考える会 会長 宮本康志様  
「未定」

国際ロータリーホームページより <http://www.rotary.org/>

2011年7月22日

### 元ロータリー奨学生が母国の復興に尽力

3月11日に大地震と津波が東日本を襲った2週間後、看護師で元ロータリー財団国際親善奨学生の倉内菜穂子さんが被災地に赴き、医療支援の活動を行いました。

地震発生後、東京にいる家族とスカイプ(ビデオ通話)で話していた倉内さんは、パソコン画面を通じて、家族の家が余震で大きく揺れる様子を目の当たりにしました。「誰でも、何かできることがある」と信じる一方で、「援助活動には、しっかりと計画と準備が必要」と考えた倉内さんは、仲間とともに、医療機材を完備した救急車2台に食料を積み、沖縄から岩手県宮古市に向かいました。現地には、あちこちに津波の生々しい痕跡が残っていました。「道のまんなかに船が打ち上げられ、家屋の上に車があたり、家の上に家があたりという状況で、町全体が泥と瓦礫だらけでした」建物が耐震用に造られていない国々では見たことのある状況でも、まさか母国でこんな大災害が起こるとは思っていなかったと言います。国際保健を学ぶために2008-09年度国際親善奨学生としてスコットランドに留学した倉内さん。「東南アジアでの2004年の津波の光景が、鮮明に蘇りました。あの津波こそ、ロータリー奨学金の申請を決意したきっかけだったんです」倉内さんの一行は、5日間、宮古市内で救援活動を行いました。

人道的奉仕に情熱を傾ける倉内さんは、今年2月にも、インドでの予防接種活動に、日本人ロータリアンとともに参加しました。留学した時にも、ニジェールで現地調査を行ったり、世界保健機関(WHO)、ユニセフ、イスラム救援機構をはじめとする団体の関係者から話を聞くなどして、ポリオ・プラスに関する修士論文を書き上げました。

「人を助ける、という概念をロータリーから教わったんです」と語る倉内さん。スコットランド留学中、現地のロータリアン・カウンセラー、ハリー・マクファーソンさん夫妻には、とてもお世話になったと言います。「マクファーソンさん夫妻の家で何度も夕食をごちそうになりました。ご夫妻がいなかったら、今日、ロータリーの活動にこれほど打ち込むことはなかったでしょう」

最初は文化の違いに戸惑ったこともあったそうです。例えば、日本ではおじぎで挨拶しますが、「(スコットランドでは)まず手を差し出して握手をしてから、抱き合って挨拶するんです。(中略)でも、こうした文化の違いを乗り越えたことで、新しいことに挑戦したり、新しい考え方を学ぶことができました」

震災による被害からの復興は「心理的にも経済的にも何年もかかる」と、倉内さんは考えます。「一日も早く、状況が元に戻り、風に散る満開の桜の美しさを(支援してくれた)方々に見てもらえる日が来ることを願っています」